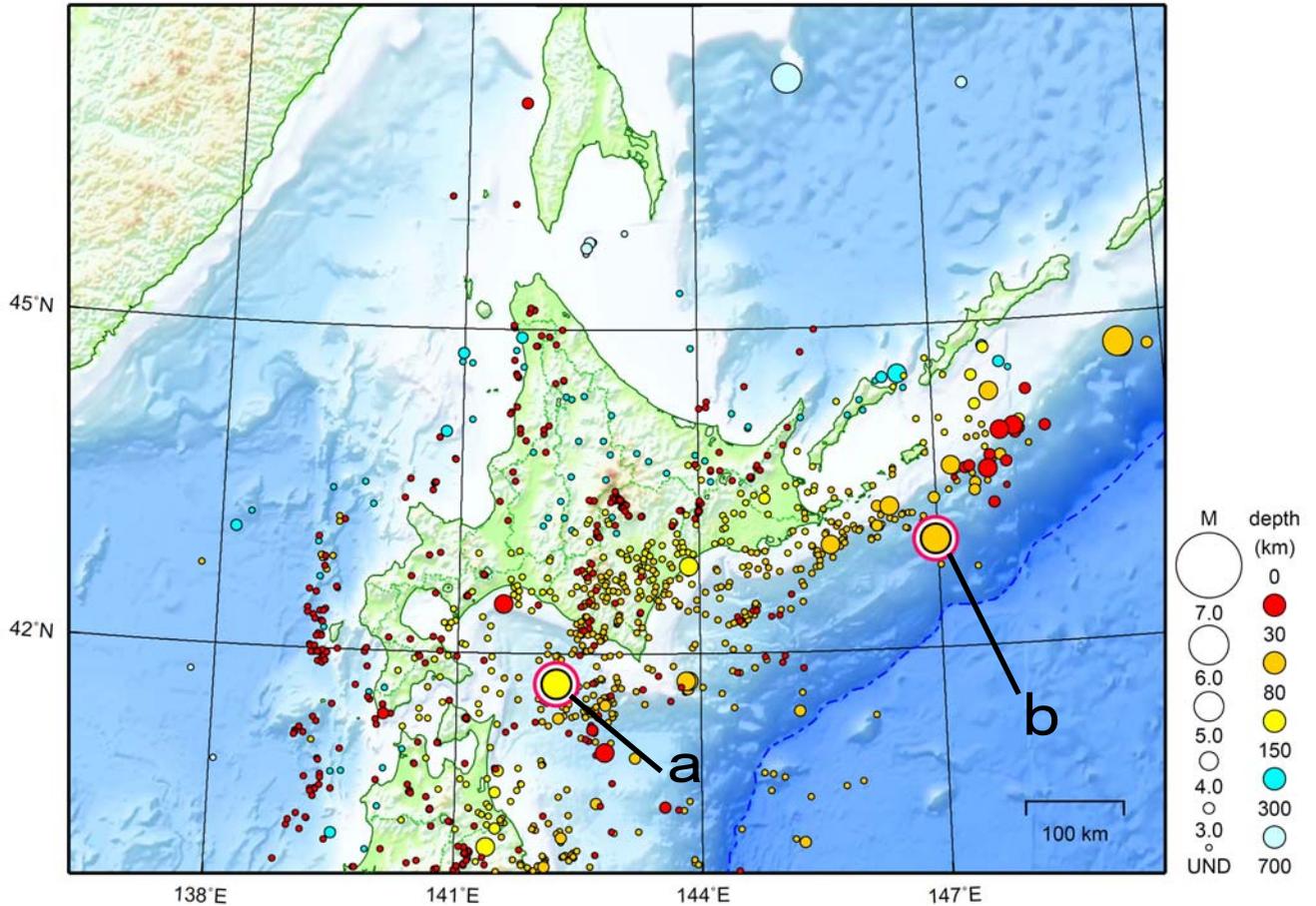


北海道地方

2009/10/01 00:00 ~ 2009/10/31 24:00

N=1241



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

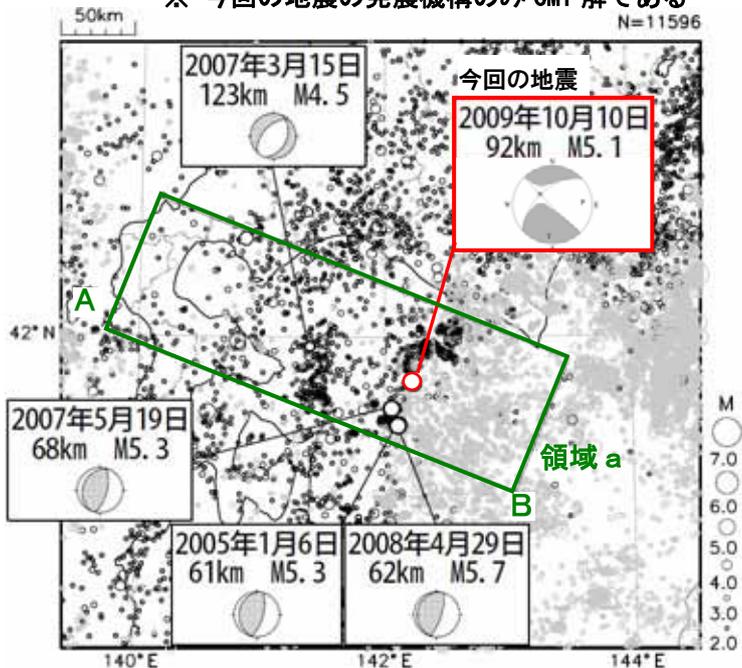
- a) 10月10日に浦河沖で M5.1 の地震（最大震度4）が発生した。
- b) 10月11日に根室半島南東沖で M5.4 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上のいずれかに該当する地震。]

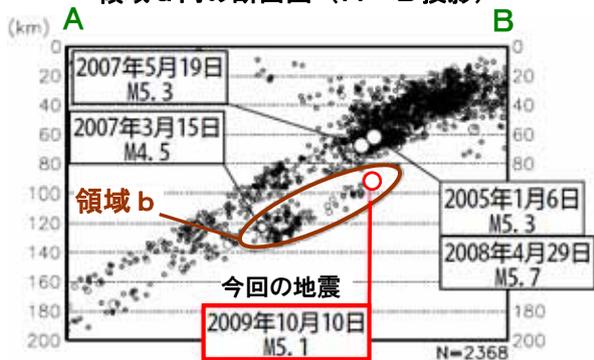
10月10日 浦河沖の地震

震央分布図 (2001年10月1日~2009年10月31日、
深さ0~200km、M \geq 2.0)

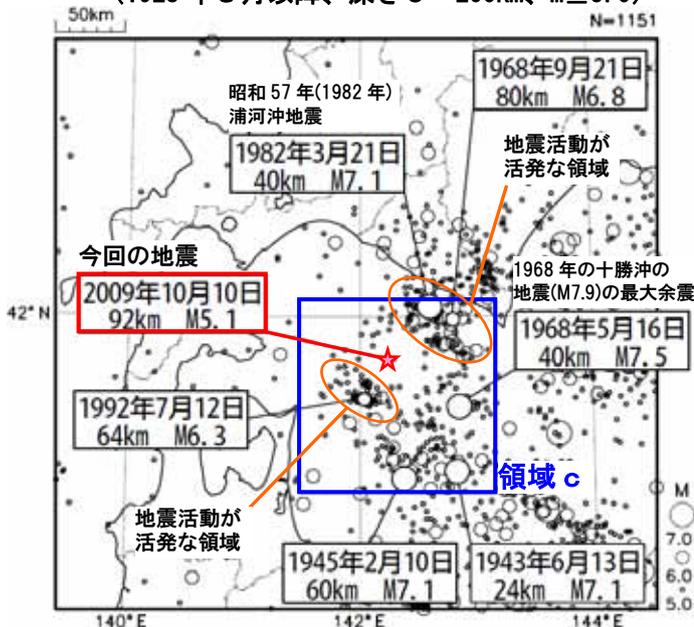
- ※ 深さ60km以深の震源を濃く表示
- ※ 今回の地震の発震機構のみCMT解である



領域a内の断面図 (A-B投影)



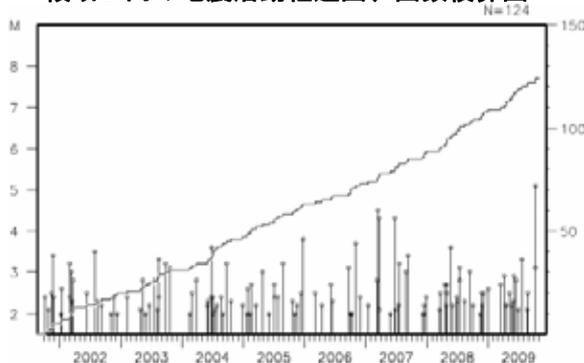
震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~200km、M \geq 5.0)



2009年10月10日17時42分に浦河沖の深さ92kmでM5.1の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、太平洋プレートの内部 (二重地震面の下面) で発生した。発震機構 (CMT解) は、南北方向に張力軸を持つ型である。

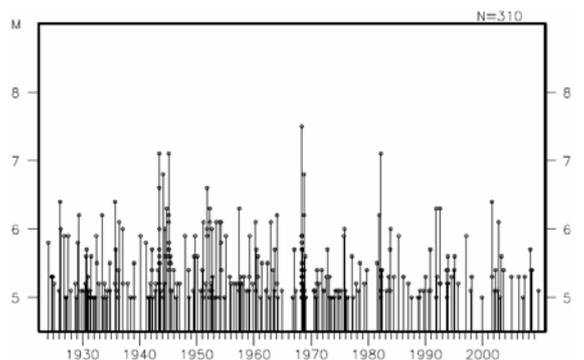
今回の地震の震源付近では、深さ60km以深でM5.0以上の地震がしばしば発生している。しかし2001年10月以降に二重地震面の下面 (領域b) で発生したM5.0以上の地震は今回の地震のみである。

領域b内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、「昭和57年 (1982年) 浦河沖地震」など、M7.0以上の地震が時々発生しているが、いずれも震源の深さは今回の地震の震源よりも浅い。また、今回の地震の震央の北東側と南西側には、M5.0以上の地震が頻繁に発生している領域があるが、今回の地震の震央傍ではM5.0以上の地震は少ない。

領域c内の地震活動経過図



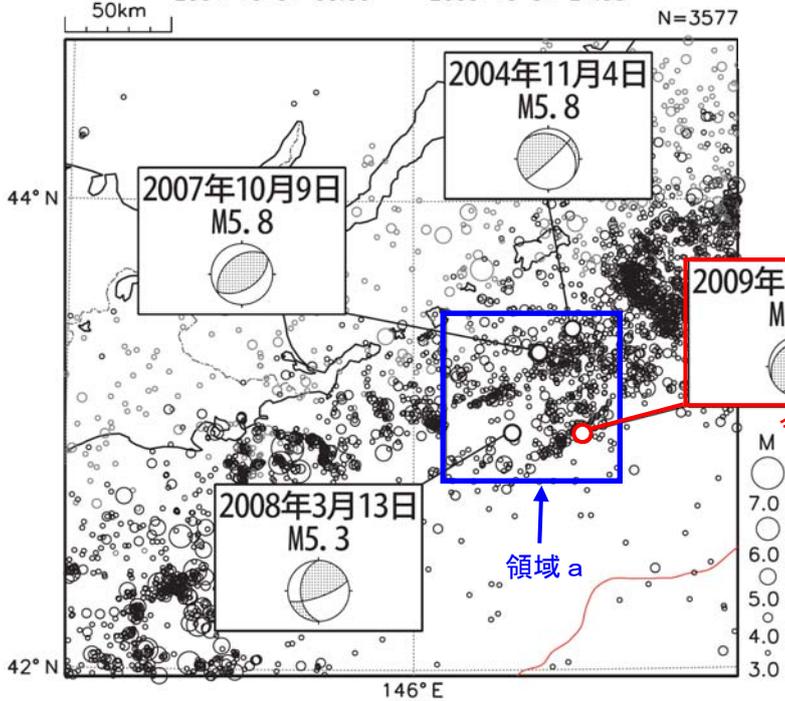
10月11日 根室半島南東沖の地震

震央分布図

(2001年10月以降、 $M \geq 3.0$ 、深さ0~150km)

※発震機構はCMT解。深さ80km以浅を濃く表示。

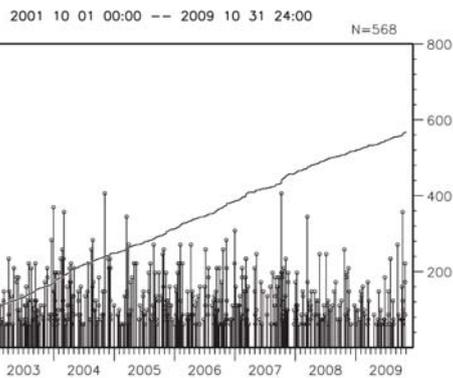
2001 10 01 00:00 -- 2009 10 31 24:00



2009年10月11日10時12分に根室半島南東沖でM5.4の地震(最大震度3)が発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震と考えられる。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域a)では、M5.0以上の地震が時々発生している。最近では、2008年3月13日にM5.3の地震(最大震度3)の地震が発生している。

領域a内(深さ0~80km)の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図

(1923年8月以降、 $M \geq 6.0$ 、深さ0~100km)

1923 08 01 00:00 -- 2009 10 31 24:00



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」(M7.4、最大震度5)では津波が発生し、根室市花咲で280cmの津波を観測、負傷者26人、船舶沈没等の被害を生じた(被害は「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内の地震活動経過図

